

令和8年度
伊勢崎市立境北中学校

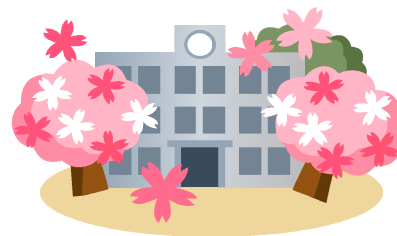


第 1号
令和8年4月7日(火)発行
校長 関根 崇史

～ 新年度の出発にあたって ～

59名の新1年生を迎え、全校生徒182名で令和8年度のスタートを切りました。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

この4月に赴任いたしました、校長の関根 崇史(せきね たかし)と申します。かつてこの境北中学校に勤務しており、今回は15年ぶりの復帰となります。お世話になった地域の皆様へ恩返しができるよう、精一杯努めてまいります。



境北中学校が目指す姿

本校では、生徒たちが将来、自立した人間として社会で活躍できるよう、以下の目標を掲げて教育活動を推進してまいります。

【学校教育目標】

《目指す生徒像》自身に誇りを持ち、高みを目指して挑戦・集中・継続ができる生徒

〔自立〕 社会で必要な学力、体力、判断力、礼節を身に付けた生徒

〔共生〕 他者を思いやり、自己を最大限に発揮できる生徒

〔貢献〕 地域、社会に貢献できる生徒

これらを実現するため、「豊かな心」「確かな学力」「地域・小学校との連携」を三つの柱とし、一人ひとりの個性を伸ばす支援を全力で行います。

“子供たちのために”を合言葉に

学校の主役は子供たちです。教職員の愛情という「土壌」に、子供たちの意欲という「種」をまき、日々の授業や行事、部活動等を通じて大きな花を咲かせたいと考えています。

学校通信のタイトル「煌星(きらぼし)」には、「無数に輝くきれいな星々」という意味が込められています。生徒一人ひとりがキラキラ輝く星です。互いに磨き合い、昨日より今日、今日より明日へと高みを目指して、自分の人生を輝かせてほしいと願っています。

一年間、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【教職員の異動紹介】

令和7年度末の人事異動で7名が転退職し、新たに9名を迎えました。境北中学校を去られた教職員の思いを引き継ぎ、新しいメンバーで協力して、よりよい学校づくりに努めていきます。

個人情報のため学校Webページ版では掲載を控えさせていただきます

